

協力的・参加的な学習

小学校

街にある人権に配慮された施設・設備や取組について考えることから、誰もが安心して生活できる街づくりや社会の発達への意欲を育てる取組。

想像力・共感力

- 社会の発達への参加・参画の意欲や態度
- 共感的に受容できるための想像力や感受性
- 多様性を尊重する態度

【主体的な学習への意欲を高める指導方法の工夫】

この事例は、街にある人権に配慮された様々な施設・設備や取組について考えることや、自分の街のフィールドワーク等に取り組むことを通して、よりよい社会の実現を目指し、積極的に社会参加・参画していこうとする意欲や態度を身に付けることをねらった、総合的な学習の時間のプログラムです。さらに、街の様子や街づくりについて調べたり話し合ったりすることによって、他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性を身に付けることも、あわせてめざしています。

フィールドワーク等の前に、写真をはじめとする様々な情報を掲載している教材、「街かどウォッチング～どんな街をつくりたい?～」(人権教育学習教材集『あおぞら』)を活用して、人権に配慮された施設・設備や人権を守る取組について、効果的に学べる構成になっています。

ここでは、取組全体の学習プログラム例と「街かどウォッチング～どんな街をつくりたい?～」を見て話し合う学習活動例を紹介しています。

「街かどウォッチング～どんな街をつくりたい?～」学習プログラム例

- ◇ 対象学年のめやす 小学校5, 6年生
- ◇ 実践する場面 社会科、特別活動、総合的な学習の時間等

STEP 1 人権に配慮された街 (1時間)

学習活動 人にやさしい街について話し合おう。(本時)

STEP 2 自分たちの街の現状 (4時間)

学習活動 フィールドワークをして調べよう。
 ○ グループで調べることを決めインターネットや図書館で調べる。
 ○ 施設を訪問したり聞き取りをしたりする。

STEP 3 自分たちの街づくり (3時間)

学習活動 よりよい街づくりについて話し合おう。
 ○ 調べた内容をまとめる。
 ○ 自分たちにできることを話し合う。

STEP 4 街づくり発表会 (2時間)

学習活動 街づくりのプレゼンテーションをしよう。
 ○ 集会等で地域や保護者に発信する。

本時のねらい

- 街にある人権に配慮された様々な施設・設備や取組に気付かせ、自分たちの街について調べようとする関心・意欲を持たせる。
- 街づくりを通して、よりよい社会の実現に主体的に関わろうとする意欲や態度を身に付けさせる。

	学習活動	教師の支援・援助
導入	1 自分たちの街にある人権に配慮したものの、配慮されていないものについて話し合う。	○ 自分たちが生活している街にあるものを振り返らせる。 ○ 自分が便利と感じたもの、不便と感じたものを発表させる。
	人にやさしい街について話し合おう	
展開	2 「街かどウォッチング」（教材集『あおぞら』）のスライドを見ながら、人権に配慮されている施設や設備、配慮の内容について話し合う。 3 スライドから、人権を大切にする取組や活動について知り、人々の思いや願いについて話し合う。 4 より良い街づくりについて、自分たちができることについて話し合う。	○ スライドを見ながら、何のための設備か、どういう配慮がされているかなどをみんなで考えさせる。 ○ 自分たちの街にあるもの、ないものを発見させ、自分たちの生活とのかかわりを考えさせる。 ○ のぼりや宣言などのスライドを見せ、そのことの意味やそこに込められている思いや願いについて話し合わせる。
整理	5 本時学習のまとめをする。	○ 人にやさしい街について、本時学習を通して考えたことを、感想文、街づくりプラン、人権マップなどにまとめさせる。 ○ 次時からグループで調べる活動をすることを知らせる。

